

〔A〕次の傍線部の口語訳として最も適当なものを選び、番号で答えよ。

- 1 女君、人なき折にて、琴いとをかしうなつかしう弾き伏したまへり。〔落窪物語〕
 ①心ひかれるように ②楽しそうに ③寂しそうに ④いとおしみながら
- 2 思ほえず、ふるさとにいとほしたなくてはありければ、心地惑ひにけり。〔伊勢物語〕
 ①不似合いな様子で ②遠慮深いものごしで ③ふしだらな態度で ④好意のある目つきで
- 3 いみじくこちまさりて、ながめ暮らすほどに、文あり。〔蜻蛉日記〕
 ①詩を詠みながら ②世の行く末を思いはかりつつ ③庭などを眺めて
 ④長雨に降りこめられて ⑤物思いに沈んで
- 4 赤橋といふ所に、將軍、御車とどめており給ふ。上達部は上の衣なるもあり。殿上人など、いと多くつかまつる。〔増鏡〕
 ①お仕えなさる ②お仕え申し上げる ③控えている ④参内する ⑤正装なさっている
- 5 亀井のあたりに、おとなしき尼一人、女房三人ある中に、いと若き尼の、ことにたどたどしげなるがあり。〔今物語〕
 ①上品な ②徳の高い ③内気な ④年かさの ⑤もの静かな
- 6 「紙たまはりて、これ包みてまかりて、たうめや子どもなどに食はせん」といへば、〔宇治拾遺物語〕
 ①いただいて ②さしあげて ③お与えになつて ④もらつて
- 7 あまり事々しからんもいかがななど思ひわづらひて、やすらふ程に、〔中務内侍日記〕
 ①心をしずめる ②やすむ ③立ち止まる ④息をひそめている ⑤ためらう
- 8 この二人の僧都、ともにやむごとなき人にて、天皇、わきおぼしめすことなかりけり。〔今昔物語集〕
 ①立派な人 ②自制心のない人 ③争い始めた人やめない人
- 9 道の程も人目つつましなければ、わざとやつしてぞおはしける。〔松帆浦物語〕
 ①用心して ②慎み深くみせるために ③気恥ずかしいので ④うるさいので ⑤包み隠すために
- 10 もとより歌のことは知らざりければすまひけれど、強ひてよませければ、かくなむ。〔伊勢物語〕
 ①抵抗したけれど ②固辞したけれど ③組み合わせてみたけれど
 ④論争したけれど ⑤何もせずに座っていたけれど
- 11 鳥のつい居たるかたを瓶につくらせたまひて、興あるものにして、ともすれば御酒入れて召す。〔大鏡〕
 ①お呼びになる ②お飲みになる ③世話をさせる ④お持てなしする ⑤差し上げる
- 12 御髪は、丈に二尺ばかりあまりて、黒うつくしう、裾は五重の扇を広げたる心地していみじ。〔木幡の時雨〕
 ①手入れが大変だ ②すばらしい ③不吉だ ④みつともない
- 13 おほかたさし向かひても、なめきは、などかく言ふらむとかたはらいたし。〔枕草子〕
 ①あらたまるのは ②聞き苦しいのは ③いいかげんなのは ④失礼なのは ⑤よくないのは
- 14 傍らの女房、下部にいたるまで、よにあへなきことに思ひて、「こは、いかなることやらむ」と騒ぎ合へり。〔西行物語〕
 ①あつけないこと ②おもしろいこと ③あつてはならないこと
 ④はらだたしいこと ⑤どうしようもないこと
- 15 女房も、縁に触れつつめやすき人々尋ね出でつつぞさぶらはせける。〔とりかへばや〕
 ①心安い ②感じのよい ③めがねにかなう ④目端の利く ⑤才氣走った
- 16 いかでか心を得ずして、基僧が案に落ちて、かく云はれたるこそつたなけれ。〔今昔物語集〕
 ①不運だ ②卑しい ③卑怯だ ④愚かだ
- 17 葉の壺に御文そへ、まゐらす。ひろげてご覧じて、いといたくあはれがらせたまひて、物もきこしめさず。〔竹取物語〕
 ①お聞き入れにならない ②お召し上がりにならない ③お治めにならない ④お聞きにならない

- 1 (①) (第7章・107)
- 2 (①) (第7章・114)
- 3 (⑤) (第7章・36)
- 4 (②) (第7章・33)
- 5 (④) (第7章・75)
- 6 (①) (第7章・32)
- 7 (⑤) (第7章・49)
- 8 (①) (第7章・124)
- 9 (③) (第7章・104)
- 10 (②) (第7章・27)
- 11 (②) (第7章・47)
- 12 (②) (第7章・71)
- 13 (④) (第7章・109)
- 14 (⑤) (第7章・57)
- 15 (②) (第7章・121)
- 16 (④) (第7章・103)
- 17 (②) (第7章・17)